

<食育・地産地消の推進について>

【調査の目的】

県では、食の重要性や農林水産業の果たす役割と意義などについて理解を深める「食育」(※1)や、県内の豊かな農林水産物を県民の皆さんに食べていただく「地産地消」(※2)を県民運動として展開しています。食育や地産地消に関する皆さんの御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

※1 食育とは

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

※2 地産地消とは

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。

<1>「食育」について関心がありますか。(n=351 選択は1つのみ)

関心がある	50.4%	177名
どちらかといえば関心がある	42.2%	148名
どちらかといえば関心がない	6.0%	21名
関心がない	1.1%	4名
その他	0.3%	1名

<2>あなたは、「食育」はどのような点で重要だと考えますか。

(n=351 選択は3つまで 回答件数=1,017)

子どもの心身の健全な発育に必要	73.2%	257名
食生活改善につながる	48.1%	169名
生活習慣病(がん、糖尿病等)、肥満ややせすぎの予防につながる	45.6%	160名
食育を通して、自然の恩恵や食に対する感謝の気持ちを持つことができる	30.8%	108名
大量の食べ残しなど食品廃棄の問題の解消につながる	27.1%	95名
食品の安全・安心を確保するために重要	24.2%	85名
地域の食文化を守るために重要	23.9%	84名
消費者と生産者間の交流の機会や、信頼関係の構築が期待できる	8.5%	30名
有機農業など自然環境と調和した食料生産の発展につながる	7.7%	27名
その他	0.6%	2名

[その他(抜粋)]

- ・食育は、「食」という身近なことを通して、社会のしくみを理解するきっかけになるなど、子どもたちにとって色々な機会や視野をもたらすものだと思う。

< 3 >あなたは、「地産地消」について関心がありますか。(n=351 選択は1つのみ)

関心がある	51.9%	182名
どちらかといえば関心がある	42.7%	150名
どちらかといえば関心がない	3.7%	13名
関心がない	1.4%	5名
その他	0.3%	1名

[その他 (抜粋)]

- ・地産地消の推進も大切だが、他の地域(外国含む)へ大いに広げていくことも地域の発展のためには重要だと思う。

< 4 >あなたは、「地産地消」はどのような点で重要だと考えますか。

(n=351 選択は2つまで 回答件数=673)

身近な場所から、新鮮で、より安価な農産物を得ることができる	78.1%	274名
生産者の情報が分かり、安心感が得られる	30.2%	106名
地域の食材を活用した伝統的な食文化の継承につながる	26.8%	94名
流通経費が削減され、生産者の収入増が期待できる	23.1%	81名
輸送距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる	19.7%	69名
地域の消費者のニーズをとらえた効率的な生産、品質改善、サービスの向上が期待できる	11.7%	41名
その他	2.3%	8名

[その他 (抜粋)]

- ・各地域の雇用が守られる。
- ・旬の野菜や果物が何なのか知ることが出来る。
- ・そもそも美味しいものを食べたい。食べたいものが、地元にあったら買う。

< 5 >あなたは、農林水産物を購入する際に「価格以外」で重視することは何ですか。

(n=351 選択は2つまで 回答件数=676)

新鮮であること	64.7%	227名
国産であること	57.3%	201名
安全・安心であること(有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培など)	37.9%	133名
地元産、福岡県産であること	26.2%	92名
銘柄(例:「夢つくし」、「はかた一番どり」など)	5.1%	18名
その他	1.4%	5名

[その他 (抜粋)]

- ・味が美味しいこと。
- ・災害が発生した地域のを優先的に買うようにしている。私なりの被災地支援です。

<6> あなたの現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べてどのように変わりましたか。

(n=351 複数回答 回答件数=543)

自宅で料理を作る回数が増えた	67.5%	237名
食事の栄養バランスを考えるようになった	30.5%	107名
通販（オンライン）やデリバリーを利用して食品を購入するようになった	25.9%	91名
地場産物を購入するようになった	16.5%	58名
その他	14.2%	50名

[その他（抜粋）]

- ・自宅で食事をすることが増えた。
- ・作る料理のレシピが増えた。
- ・友人・知人と数人で外食をすることがなくなった。
- ・買い物に行く回数が減り、まとめ買いをする習慣がついた。
- ・発酵料理や薬膳料理など学ぶようになった。
- ・自炊をしないので弁当を購入する機会が増加した。栄養を意識して心がけてはいるがコロナ前と比較すると偏った食生活となっている。
- ・ウイルスの付着が心配で、スーパー等のお惣菜を買わなくなった。その代わり、日持ちする冷凍食品の購入が増えた。

<7> 県が実施している食育・地産地消の取組みについて、知っているものはありますか。

(n=351 複数回答 回答件数=507)

いずれも知らない	63.8%	224名
「ふくおか地産地消応援の店」認定制度	21.7%	76名
「ふくおか農林漁業応援団体」登録制度	14.5%	51名
ホームページ「いただきます！福岡のおいしい幸せ」での情報発信	12.8%	45名
食育・地産地消月間	11.4%	40名
ふくおかエコ農産物	10.0%	35名
「ふくおか地産地消応援ファミリー」登録制度	9.4%	33名
Facebook「いただきます！福岡のおいしい幸せ」での情報発信	0.9%	3名

<8> 食育・地産地消の推進について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(n=351 選択は1つのみ)

特にない	85.5%	300名
ある	14.5%	51名

[ある（抜粋）]

- ・広報による周知を広めることも大切だが、スーパーなどで実際に地元の農林水産物をより広く販売していくことが一番よいのではないだろうか。購入しやすい売り方を工夫すれば新鮮で安全な産品として消費も拡大するのではないか。
- ・県内の皆が知らない、隠れたおいしい果物や野菜などを広報で積極的に紹介して欲しい。
- ・問7にあるような地産地消の取組みがなされていることはほとんど知らなかった。もっと積極的にPRをし、福岡県の農林水産業の発達に力を入れていただきたい。
- ・地元の食材は既存のものより値段が高いため、なかなか出来ないでいる。

- ・食育を基に小中学校では給食指導が行われているが、食事に関する栄養、食品廃棄の解消、地元の食文化と地産地消の大切さを学ぶ大切な機会と捉えられている。一方、家庭での食教育も不可欠であるので、今後も食育の重要性を様々な形でアピールしてもらいたいと思う。
- ・学校給食での県産品利用を促進する。実際行われているのならPR不足ではないか。
- ・子どもたちには、自らの食を自ら考えて、将来自活するだけでなく、自分の健康を自分で考えて食事ができるような子どもになってほしいと思っている。学校でも食育活動は結構力を入れているようだが、家庭でできることは家庭でやっていくようありたいと思う。
- ・若年の間にしっかり、安全なもの栄養のある物を食べるためには保護者への教育が必要だと思う。
- ・福岡県下で、地産地消ならびに食育に力を入れての子ども食堂を行政が主導して展開してはどうか。
- ・行政区分からして仕方がない面があるが、福岡県のみだと面積が小さすぎるので、道州制ではないが九州若しくは北部九州全体からみた地産地消を推進することが、より効率的でより魅力的な運動になり、引いては他地域への農産品の販売にも弾みがつくものと考える。
- ・その地で採れた新鮮な食品が一番おいしくて安全であることや時期や地域で生産物は似てくることを理解して旬の生産物を食するように推進するべき。また、農薬が問題になっているが、海外からの輸入品などは防腐剤などが使われている可能性をもっと伝えるべき。同時に冷凍技術の向上による冷凍品への偏見やフードロスにつながるカット野菜などの意義を考えるべきと思う。
- ・地産地消の促進のためのアプリを開発してはどうか。福岡県産の農作物や水産物などを購入するとポイントがたまる仕組み。貯まったポイントは福岡県産の商品の購入に活用できるというようなもの。
- ・地元の農産物、海産物等はふるさと納税の仕組みを活用して県民、県外の人に広告すべきだと思う。コロナ禍でオンラインによる消費者が増えていると思うので、ふるさと納税での返礼品として、新鮮さ、美味しさ等の魅力をアピールすべきだと思う。



買って応援！ 食べて応援 ふくおか農林漁業応援団

福岡県産の美味しい農林水産物を愛用して、福岡の農林水産業をもっと応援しよう！という取組です。

ふくおか地産地消応援ファミリー

県産の農林水産物を積極的に購入して、福岡の農林水産業を応援するご家庭です。
応援ファミリーを対象に、野菜・果物の植付けや収穫、椎茸の駒打ち等の林業、酪農、漁業等を実際に体験する「ふくおか農林漁業体験ツアー」を実施しています。

《体験ツアー参加者の声》

- ・現地を訪れて、生産者の顔を見ることによって、より農産物への愛着と安心を感じ、地産地消の大切さを実感しました。
- ・田植えをしたことがなかったので、本当にいい体験でした。子どもがごはんを残したときにこの体験のことを話したら、きっと残さなくなると思います。

登録は
こちら！



柿の収穫体験



調理体験



海苔の手すき体験

ふくおか地産地消応援の店

年間を通じて、県産の農林水産物を使用する飲食店、惣菜店等です。

HPで
検索！



ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる取組や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業・団体です。



農林漁業応援団体の表彰



詳しくは **福岡の美味しい幸せ** **検索** <http://f-ouen.com>

お問合せ先：福岡県農林水産部食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575

SNSでも
情報発信中！

